

曾根干潟



途中トイレがありませんので、スタート前にトイレは済ませましょう。

曾根干潟と歴史を訪ねて
＝カプトガニの生息地と
小倉南区の歴史散策＝
(全長 約5.5km)
緊急連絡先 朽網駅 093-471-0023

- 必ず準備運動を行いましょう。
- 自分のペースで歩きましょう。
- ウォーキング中の負傷等については責任を負いかねます。ご了承ください。
- 歩道が無い場所もありますので、お車には十分ご注意ください。
- 体調が良くない時は、無理をしないようにしましょう。
- 休業日や営業時間など、施設により変更の可能性があるため必ず最新情報をご確認ください。

スタート 朽網駅

①ハマボウ



約1.0km



ハマボウは絶滅危惧Ⅱ類に指定され関東以西の本州・四国・九州に分布し、韓国にも分布する落葉低木で、内湾や河口の塩性湿地に生育します。幹は枝分かかれし、樹高は3mほどです。葉は落葉樹にしては厚く、両面に星状毛がありますが、特に裏面は密生するので、灰白色に見えます。7月から8月にかけて、オクラやケナフに似た黄色の美しい花を咲かせます。

②曾根干潟



干潮時には沖合いに約5キロもの広大な干潟が現れる「曾根干潟」。大潮の時には、沖の「間島」まで歩いて渡ることができますが、(長靴があると便利) 潮が満ちると帰れなくなりますので、潮の時間に注意しましょう。ちなみにこの間島、クジラの形に似ていることから地元では、「クジラ島」とも呼ばれています。カブトガニは、7月から8月の大潮に産卵の為、防波堤近くまでやって来ることがあります。

③カブトガニ自慢館

約2.0km



営業時間 10:00~16:00 入場無料
営業日 土曜日、日曜日、祝日
2億年前から、時には恐竜に踏みつけられながら、何とか地球の片隅で細々と生きてきた生物がこの曾根干潟にもいます。恐竜たちは約6500万年前に絶滅してしまいましたが、その強い生命力で昔の形のままだま生きているカブトガニを間近で見ることが出来ます。
現在、新型コロナウイルスの影響により閉館中

カキ小屋



カキ小屋 は、カブトガニ自慢館となりに12月上旬からオープンします。
カキ小屋 「はちがめ」席数 80席
営業時間 11:00~17:00
お問い合わせ先 080-5255-2491
土休日は大変混雑いたします。
店休日 年末年始

④綿都美神社(わたつみじんじや)



天平6年(734年)に、吉田の中心に位置し、海と風の神様を祭り、地域の産土神(うぶすながみ)として地域の人々に親しまれています。明治維新後に社号を龍王神社から綿都美神社に改められました。毎年、春と秋には大祭が催されます。

約1.5km



⑤帝踏石(たいとうせき)

約0.5km



西暦82年10月、景行天皇は山奥に土蜘蛛(大和政権に従わない集団)がいて、天皇の命令に従わないため、軍勢を結集して阻止する戦いの前に石占いをしました。柏峡の大野(大分県内)で大岩を見つけ、「私が土蜘蛛を滅ぼすことが出来るのなら、この石を蹴ったら柏の葉のように舞い上がるだろう。」と、言い石を蹴り上げると柏の葉のように大空に舞い上がった。それで、その石を名付けて『踏石』と言うそうです。

ゴール 朽網駅